

「三好ジオパーク」(徳島県) が日本ジオパークに新規認定されました！



三好ジオパークは徳島県の西端に位置しています。面積は 844 km²で、徳島県で初のジオパーク地域となりました。



見所のひとつ、「大歩危小歩危」(おおぼけ・こぼけ) 渓谷。

「ホケ」とは、古語で「川沿いの断崖絶壁」を意味するそう。約 1 億年前の海底にたまった硬い地層が山地となったのち、川の流れて削られてできた場所。現在は遊覧船で兩岸の絶景を楽しむことができます。

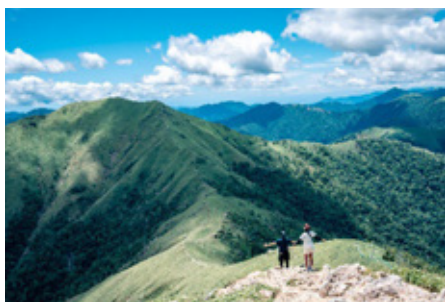
令和 6 年 10 月 9 日に開催された第 52 回日本ジオパーク委員会に置いて「三好(みよし) ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。

三好ジオパークのエリアは、徳島県三好市と、東みよし町の 2 つの市町の全域です。急峻な四国山地と讃岐山脈、吉野川と中央構造線の活動によってできた平野など、さまざまな地形が見られる地域で、特に「大歩危小歩危(おおぼけこぼけ) 渓谷」は観光地としても有名です。

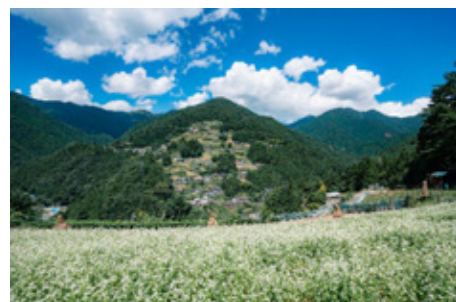
山間地の斜面に点在する数百もの集落では、傾斜地ならではの建築的工夫が伝統的な景観を作っており、水はけの良い土地の特徴を生かしてソバや茶葉、ゼンマイ、ジャガイモが作られています。

三好地域では平成 27 年からジオパークを目指す取組みを始め、大地の特徴の保全と活用、ガイドの育成、地域資源の関係性をわかりやすく示す資料の作成などを進めてきました。

大地の特徴とそこで育まれた自然環境、伝統的な景観を守りながら、地域づくりや魅力の発信が期待されています。



剣山(つるぎさん)は標高 1955m、西日本で 2 番目に高い山です。周辺には白い石灰岩が見られ、ここがかつて海の底だったことがわかります。



写真中央の山腹には、家並みと畑が作られています。

斜面で地滑りが起こった後、傾斜が緩やかになった場所を活用されています。

2024 年 10 月 9 日時点で、日本ジオパークは 47 地域(うち、ユネスコ世界ジオパークは 10 地域)となりました！